

公益活動報告書(市民活動実績報告書)(令和 6 年度)

(宛先)岡崎市長

令和7年 3 月 18 日

団体名 ぼくらの障がい知ってもらい隊 アンダンテ

代表者 杉浦 幸博

構成員 18 人(※令和7年4月1日時点の構成員数)

団体の目的: 団体の会則・規約に定められた団体の目的を記入してください。

僕たち障がい者は一見、大変、かわいそうなどと思われがちだが、講話を通してそのイメージを変えていくことを目的とする。また、講話・疑似体験など障がい当事者が障がいを生かした活動をすることができる。

私達の団体が掲げる目的を実現した活動を、以下の項目に従って報告します。

なお、記載内容を一般に公開することに同意します。

■1 団体の活動目的達成に向けて、今年度はどのような活動をしましたか。(公益活動に限る)

活動日 又は期間	場所	公益を受けた ものは?	受益者 (会員以外) 人数※1	活動内容
随時	各学校	各学校生徒・教師	923 人	福祉実践教室
随時	各学校	各学校生徒・教師	700 人	福祉教育プログラム
随時	依頼先	依頼団体・依頼者		その他福祉実践企画・体験・講話
随時	市内各地	バリアフリー情報を必要とする人	ブログ閲覧者等	市内の施設・店舗等のバリアフリー情報を SNS で発信

※1 公益を受けたものが「人」ではない、数が把握できない場合は記載がなくてもよい。<ex.自然環境>

■2 前項1に基づき、1年間の団体活動で岡崎市(広く市民社会一般)に何をもたらしましたか。

障がいがあってもなくても様々な工夫でできることが多く、皆さんがそれぞれのあたりまえの生活を送っていることが分かった。(教員感想より)

■3 今年度の活動の公益性を自己評価し、付随する質問にお答えください。

①公益性の度合いを自己評価してください(数字に○をつけてください)

高い ← (5) 4 3 2 1 → 低い

②上記の評価をした理由をお書きください。

「体験だけでなく、障がい者が生活するためにさまざまな支援があることを知れた。また、その支援を受けることでいきいきと生活する姿に触れることができた…」など、多くの方から評価をいただいたから。